2024.7.16

安全データシート

作成日：2020年7月1日
改訂日：2024年7月16日（改訂2）

1.化学品及び会社情報

製品の名称：エレファフォーム
会　　社：ハクゾウメディカル株式会社
住　　所：大阪府大阪市中央区徳井町2-4-9
担 当 部 門：研究開発部
電 話 番 号：06-6942-0390
ファックス：06-6942-2662

2.危険有害性の要約

危険性　：通常の取り扱いでは危険性は低いと予想される。
有害性　：通常の取り扱いでは危険性は低いと予想される。
国連番号　：なし
環境影響　：知見なし
物理的及び化学的危険性　：眼に入らないよう注意する。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　：混合物
成分及び含有量　：ベンザルコニウム塩化物　0.05w/v%
添加物　：増粘剤、キレート防止剤、保湿剤
官報公示整理番号　：－
CAS番号　：－

4.応急措置

吸入した場合　：新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合　：手指消毒剤であり、適量を手にとり、指先までまんべんなく擦りこんで使用する。使用後、皮膚に発疹・発赤・かゆみの症状があらわれた場合は直ちに使用を中止し、医師または薬剤師に相談する。
眼に入った場合　：水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。清浄な水で数分間眼を洗浄したのち、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合　：すぐにコップ 1～2 杯の牛乳または水を飲ませ、誤飲したものを薄めたり食道や粘膜を保護する、無理に吐かせてはいけない。嘔吐や下痢症状が激しかったり様子がおかしい場合は医師に相談する。

5.火災時の措置

消化剤　：粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。
使ってはならない消火剤　：情報なし
火災時の特定危険有害性　：燃焼ガスには、一般炭素ガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
特定の消火方法　：火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に出ないように適切な措置を行う。
消火を行う者の保護　：燃焼ガスには、一酸化炭素ガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項　：作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスク等）を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項　：漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
除去方法　：少量の場合、吸着剤（土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、人を安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
二次災害の防止策　：付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。床に濡れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い　：取扱い場所では火気、花火、アークを発する物又は高温点火源を使用しない。強酸化剤との接触を避ける。漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発散させない。取扱い場所で使用する機器は防爆構造とし、機器類は静電気対策を講じる。
保管　：冷暗所に保管し、直射日光を避ける。貯蔵場所では常に整理整頓及び清掃に努め、みだりに不必要な可燃物を放置しない。収納した製品を貯蔵するときは地震等で収納容器が容易に転落、転倒し又は他の落下物により損傷を受けないようにする。

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度	：設定されていない。
許容濃度	：設定されていない。

9.物理的及び化学的性質

外観	：無色透明のわずかに粘性のある液体
におい	：わずかに特異なにおい
pH	：12.0～12.5
粘度	：－
エタノール濃度	：配合なし
比重	：0.980～1.020
沸点	：データなし
融点	：データなし
分解温度	：データなし
引火点	：データなし
爆発限界	：データなし
蒸気圧	：データなし
溶解性	：水に容易に分散する。

10.安定性及び反応性

安定性	：通常の取扱い条件においては安定。
反応性	：自己反応性なし
発火性	：情報なし
避けるべき条件	：情報なし
危険有害な分解生成物	：情報なし
その他	：特になし

11.有害性情報

急性毒性	：データなし
皮膚腐食性	：データなし
皮膚刺激性	：データなし
眼刺激性	：データなし
感作性	：データなし
慢性毒性・長期毒性	：データなし
変異原性	：データなし

催奇形性	：データなし
発がん性	：データなし
生殖毒性	：データなし
その他　光毒性	：データなし

12.環境影響情報

生分解性	：データなし
生態影響	：データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	：焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器・包装	：空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14.輸送上の注意

輸送上の注意	：車両等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付するのが望ましい。輸送前に容器が密閉されているか、又は液漏れがないか確認する。 容器の輸送及び運搬は、常にしっかり固定した状態で行い、特に瓶及び缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物をつめておく。
法規制関連	：その他、法令等の定めるところに従う。

15.適用法令

薬機法	：指定医薬部外品
消防法	：非危険物
他、法令	：特になし

16.その他の情報

なし

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを前提としたものなので、これらを参考にして、自らの責任において、個々の取扱いにおいて適切な安全策・適切な処置をとられますよう、お願いします。